

## 新型コロナウイルス対策として有効な消毒法

- ◇まずは、市販の塩素系の液体消毒薬を用意します。成分の濃度が異なることに注意  
◇ピューラックス（6%）、ミルトン（1.1%）、テキサント（6%）、ハイポライト（10%）など

### ■通常の環境消毒（ドアノブ等）を消毒する場合

市販の消毒薬を塩素濃度 0.05%（500ppm）に希釈した消毒液で拭きます。

### <簡易な希釈の方法>

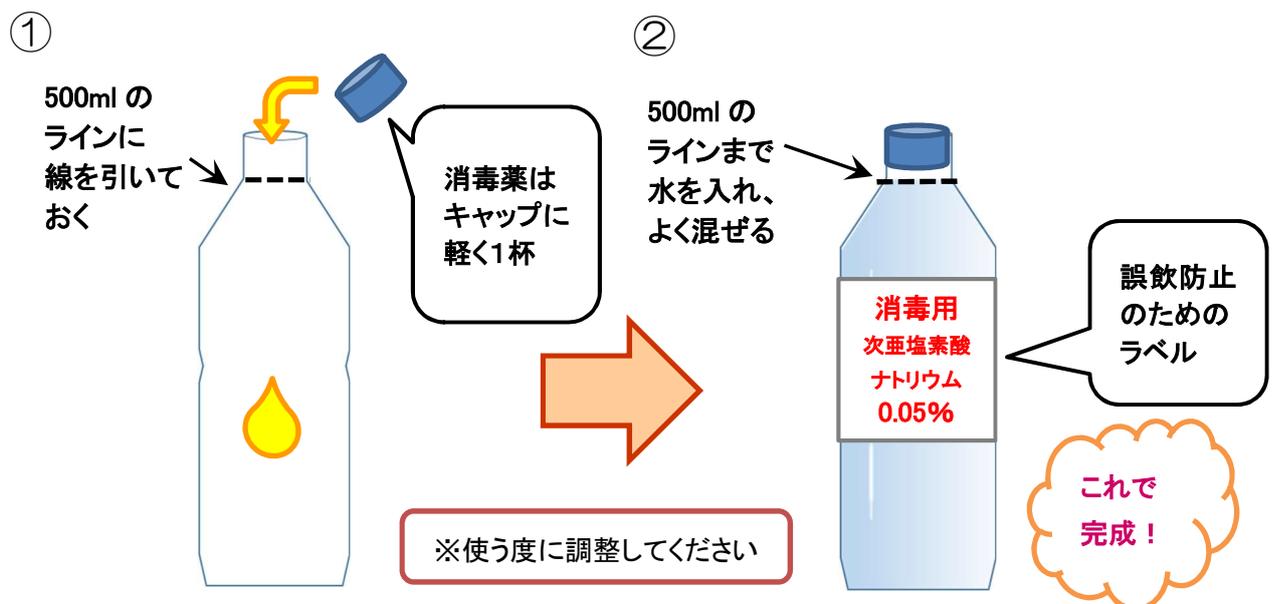
○ペットボトルを使って、0.05%の次亜塩素酸ナトリウム液 500ml を作ります。

#### 【用意するもの】

- 洗って水切りした 500ml のペットボトルとそのキャップ
- 市販の消毒薬、ここでは、例としてピューラックス（6%）を使います。

#### 【手順】

- ① 消毒薬の希釈倍率（何倍に薄めるか）を計算します。  
希釈倍率の求め方は **消毒薬の濃度（%）÷目的の濃度（%）**  
6%の消毒薬を 0.05%にするには、 $6 \div 0.05 = 120$  倍 に希釈すれば OK
- ② 消毒薬と水をペットボトルで混ぜます。  
ペットボトルに 500ml の  $1/120$  量の消毒薬を入れてから、満杯の線まで水を入れ、キャップを閉めて振り混ぜればできあがり  
消毒薬：500ml の 120 分の 1（ $\approx 4.2$ ml）・・・キャップに軽く 1 杯  
水：溢れないように 500ml（満杯）まで注いだら、キャップを閉めて混ぜる。



- ◎ 金属部分は、腐食に弱いものもあるので、消毒液で拭いたあと、水で拭くとよいでしょう。（作業の際はゴム手袋を着用してください。）
- ◎ 感染の疑いのある人や、濃厚接触者が使用したトイレ等は、0.1%（2倍濃度）の次亜塩素酸ナトリウム液または 70%アルコールを使って拭き掃除を行ってください。

■嘔吐物の消毒：床やテーブル、壁面等を消毒する場合 ※変質する可能性があります。  
市販の消毒薬を塩素濃度 0.1% (1,000ppm) に希釈した消毒液を使用します。

広い面積に使用するので、少し多めに、2L のペットボトルを使って作ります。

希釈倍率（6%のピューラックスを使って）は、 $6 \div 0.1 = 60$  倍

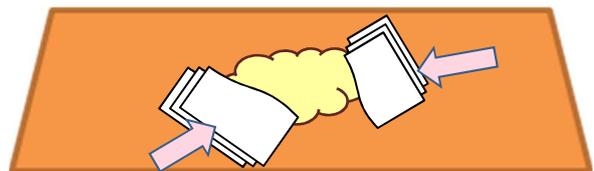
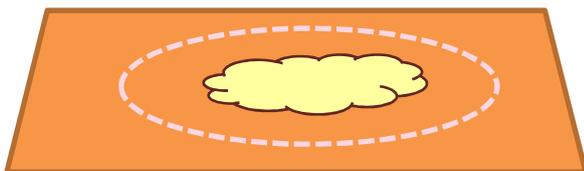
必要な塩素剤の量は2L の  $1/60 = 33.3 \dots \approx 34$ ml

従って、34ml（ペットボトルキャップ4杯半）の消毒薬をペットボトルに入れて、水を加えて2L にします。

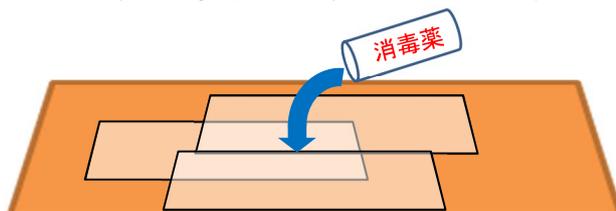
### <処理の方法>

用意するもの：使い捨て手袋（2重にはめて）、使い捨てマスク、使い捨てエプロン  
ペーパータオル、新聞紙、ビニール袋、調整した次亜塩素酸ナトリウム液

- ① 嘔吐物の周辺に人を立入らせない（半径 2m）。  
作業する人はマスク、手袋、エプロンを着用する。  
最初に、嘔吐物に新聞紙などを被せ、上から嘔吐物と同量の 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液 を静かに注いで 10 分程度置く。
- ② 次に、嘔吐物をペーパータオル等で、外側から内側方向に、広がらないように拭き取り、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液 を入れたビニール袋に入れる。  
拭き取る際に、同一面でこすると汚染が広がるので注意



- ③ 拭き取った後の床にきれいなペーパータオルを置き、上から 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液 をかけ、10 分ほど置いて拭き取り、その後水拭きする。
- ④ 作業に使った手袋、マスク等を注意して外し、拭き取ったペーパータオルとともにビニール袋に入れて、口をしっかり閉める。さらにもう一度ビニール袋に入れ、口をしっかり閉めて捨てる。



### 《嘔吐物が衣類やシーツなどに付着した場合》

上の①～②の方法で嘔吐物を飛び散らないように除去した後、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いします。その際に飛まつを吸い込まないように注意してください。下洗いが終わった洗濯物は、80℃で 10 分以上になるように熱湯消毒するか、0.02%次亜塩素酸ナトリウム液に 30～60 分着け置きます\*。その後、他のものと分けて最後に普通に洗濯します。\*色落ちする場合があります。

問合せ先

東京都南多摩保健所 生活環境安全課 環境衛生担当 042-371-7661